金沢版地域包括ケアシステム推進協議会（第２回）	参考資料２
平成25年10月　7日	

在宅医療連携拠点の取組

「いしかわ921在宅ネットワーク」の取り組みについて

1．成り立ち

石川県医師会の補助を得て、在宅医療の活性化を目的として、平成23年3月に金沢南在宅医療推進会議が設立された。平成24年度には、金沢赤十字病院が在宅医療連携拠点事業を受託し、金沢南在宅医療推進会議を母体として拠点事業「いしかわ921在宅ネットワーク」を展開した。在宅医療連携拠点事業は終了したが、展開してきた事業を金沢南在宅医療推進会議で引き継ぐことになり、「いしかわ921在宅ネットワーク」の名称を使うことになった。

2．活動地域

対象地域は、金沢市南部及び野々市市（〒921地区）、人口172,500人、高齢化率20.7%である。

3．ネットワーク会議メンバー

現在45名。医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、介護福祉士、リハビリ療法士など10種の専門職からなる。25年度の役員は以下の通り。

代　表　西村元一　医師　金沢赤十字病院　副院長
副代表　喜多徹　医師　喜多内科医院　院長
副代表　斉藤元泰　医師　さいとう内科医院院長
副代表　千徳国治　介護福祉士　ぽーれぽーれ四十万
幹　事　笠間明子　主任介護支援専門員　金沢市地域包括支援センターやましな
古谷亜希子　保健師　野々市市地域包括支援センター
島津啓子　看護師　金沢市泉野訪問看護ステーション
小堺武士　理学療法士　ｹｱﾊﾟｯｸ石川ﾘﾊﾋﾞﾘ訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ
橋本昌子　薬剤師　石川県薬剤師会、てまり薬局
事務局　河原久美子　社会福祉士　金沢赤十字病院医療福祉課

4. 事業の目標及び期待される効果

この2年余の金沢南在宅医療推進会議の活動で、金沢南地域及び野々市市の多職種連携は促進され、『顔見知りの関係』が一歩進み、『人となりがわかる関係』が構築されつつある。この関係を継続するためには、グループワークを伴う研修や、勉強会、情報共有体制の構築が不可欠である。

住民によりよい在宅医療を提供するため、本事業（いしかわ921在宅ネットワーク）では、地域の多職種連携を促進する活動を行うことによって、この地域の在宅医療の活性化を目指す。

また平成24年度の活動の中で、地域住民への普及啓発活動は、地域住民の在宅医療の理解を促し、その意識の変容に関与したことがわかっている。今後も普及啓発活動を継続し、地域住民の適切な在宅医療選択に寄与していく。

5. 24年度の活動内容

（1）地域の医療・福祉資源の把握及び活用

地域にある、医療介護資源、全事業所549施設中、291施設から情報を収集し、それを拠点ホームページ上で開示した。各施設にユーザー番号とパスワードを提供し、自ら情報を更新できるようにした。

（2）会議の開催

金沢南在宅医療推進会議の例会、地域包括支援センターとの意見交換会を開催。

（3） 研修の実施

グループワークを伴う多職種連携研修会、講義形式の専門研修、そして地域の介護職対象の勉強会を合計22回行い、1050人の参加があった。

（4）24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築

各医療機関や介護事業所の受け入れ手順の情報発信など、情報のハブ的役割を担った。

また、地域の10病院に参加してもらい「多職種連携を考える地域連携室の会」を結成し活動した。

（5）地域住民への普及・啓発

次の5本柱で普及啓発活動を行った。

①住民調査

在宅医療に関する住民の意向調査を行った。550人に調査票を送付し、397人から回答を得た。

②タウンミーティング

在宅医療について、住民に普及啓発すると共に、住民と協働し、地域の在宅療養における課題を抽出するため、地域包括支援センターと協働しタウンミーティングを行った。

③市民公開講座

終末期ケアと在宅医療を考えるシンポジウムを開催した。

④ホームページによる情報発信

住民に理解しやすいよう、読み物仕立てにしたり、事例を用いて在宅療養を解説した。

⑤メッセージブックの発行

住民が在宅療養について考え、自らの療養を選択できるきっかけとなるよう、メッセージブックを作成した。

6. 25年度の活動予定

項目	内容	対象者
在宅医療に関連する多職種連携研修　　2回	グループワークを伴う研修会	在宅医療に関わる専門職
認知症の多職種事例検討会　　1回	マインドマップを用いた「見える事例検討会」	同上
加賀脳卒中連携協議会との共催研修　　1回	脳卒中パスを使用したグループワーク	加賀脳卒中協議会メンバー 回復期リハビリ病床職員 地域のケアマネジャー
介護職対象の医療知識の勉強会　　3回	介護職に必要な看取り、リハビリテーションなど知識の勉強会	在宅・施設の介護職員 非医療職の介護支援専門員
先進地域の視察　　延べ6人	滋賀県三方よしネットワークの事例検討会を視察、当地域の事例検討会開催の参考とする	金沢南在宅医療推進会議メンバーのうち、事例検討会を企画運営する者
ホームページの充実	専門職を支援する内容にシフト	地域住民 在宅医療に関わる専門職
ネットワーク会議　　4回	メンバーが集り、活動計画や、活動状況を審議	金沢南在宅医療推進会議メンバー45人
役員会　　随時	活動方針の決定	代表、副代表、幹事、事務局
県民公開講座　　1回	終末期における医療の意思決定を考える	一般市民 在宅医療に関わる専門職
いしかわ921研究会　　2回	地域の事例報告やミニレクチャー 持ち回りで、研究会方式にて行う	在宅医療に関わる専門職
メーリングリスト作成	MLでネットワークへの参加意識を高める	いしかわ 921 在宅ネットワークに賛同する方

7. 課題

・事務局要員や、ホームページ・MLの管理人が必要であり、毎年活動資金が必要である。
・活動の評価をどのように行うか

りくつなケアネット金澤
ご紹介

りくつなケアネット金澤
大谷千晴

りくつなケアネット金澤（金沢駅西在宅療養を考える会）事業一覧

研修会開催	ＷＳ	年月日	時間	場所	内容	参加数
第1回		平成23年 6月3日（金）	19:00～	金沢社会 保険病院	① 在宅療養の話：洞庭医院　洞庭賢一氏 ② 症例検討会：金沢ホームケアクリニック　黒瀬亮太氏	90名
第2回		平成23年 8月4日（木）	19:00～	城北病院	① 在宅医療と診療報酬～医療保険・介護保険の使い分け～：こすもす訪看 木谷　幸子氏 ② 城北病院　大川　義弘氏	79名
第3回		平成23年 11月16日（水）	19:00～	金沢西病院	① 認知症：金沢西病院　丸田　高広氏 ② 事業所報告：金沢西病院介護部門 ③ 症例検討	81名
医師会主催		平成24年 2月3日（水）	19:00～	金沢都ホテル		
医師会主催		平成24年 3月13日（火）		石川県 医師会館	在宅医療推進事業報告会	
第4回		平成24年 4月25日（水）	19:00～	映寿会 みらい病院	①-1 在宅における栄養方法について：映寿会みらい病院　毛利　郁朗氏 ①-2 グループ討議　胃ろうについて ② 事業所紹介：みやうち眼科　宮内　修氏	73名
第5回		平成24年 8月6日（月）	19:00～	金沢社会 保険病院	①-1 在宅医療としての腹膜透析：金沢社会保険病院　武藤　寿生氏 ①-2 事例紹介：訪看ステーションひだまり　新井　優氏 ② 事業所紹介：らいふ薬局　狩谷　健太郎氏	100名
第6回		平成24年 11月22日（木）	18:30～	城北病院	①城北病院内科クリニカルカンファレンス 1）城北病院におけるNSTチームの紹介：本田薬剤師 2）ミニレクチャー「在宅医療に必要な感染症、抗生剤の知識」：松島内科部長 ② 駅西在宅のカンファレンス～実際の症例から医学的、社会的問題を考えよう（1～2例）：斉藤副院長 ③ 質疑応答	75名

第1回ＷＳ	第1回	平成24年 12月4日（火）	19：00～ 21：00	金沢西病院	テーマ：駅西地区の医療・保健・福祉サービスの課題を考えよう。 自己紹介・グループワーク・発表・まとめ	22名
	第2回	平成25年 1月8日（火）	19：00～ 21：00	金沢西病院	テーマ：駅西地区の医療・保健・福祉サービスの課題を考えよう。第1回のまとめ、議論を深め、対策を考える。 グループワーク・発表・まとめ	32名
	第3回	平成25年 2月12日（火）	19：00～ 21：00	金沢西病院	テーマ：駅西地区の医療・保健・福祉サービスの課題を考えよう。理想の姿を整理し、現実と比較、今後の課題を考える。 グループワーク・発表・まとめ	33名
	第４回 （最終回）	平成25年 3月15日（金）	19：00～ 21：00	金沢西病院	テーマ：駅西地区の医療・保健・福祉サービスの課題を考えよう。金沢駅西の在宅療養支援のための行動計画をたてよう。 グループワーク・発表・まとめ	33名
第7回		平成25年 4月24日（水）	19：00～	金沢西病院	①　事業所紹介　ツバメヤ　食事制限・嚥下障害のある方でも食事ができるお店　福村美紀子氏 ②　症例検討会　病院から介護施設までの連携を行ったカンファレンス　金沢西病院　菊地勤氏	105名
第8回	りくつなケアネット金沢に改名	平成25年 7月25日（木）	18：30～	石川県立中央病院	①　社会資源紹介　知っとるけ？　地域にある社会資源　訪問看護ステーションつくし　中川洋子氏 ②　症例検討会　病院から介護施設までの連携を行ったカンファレンス　金沢西病院　菊地勤氏 ③　グループワーク　肺がん事例	132名
第9回		平成25年 11月予定		映寿会 みらいのさと太陽		

当会の平成24年度事業

①研修会開催

②多職種連携ワークショップ開催

③ホームページでの情報提供開始

②ワークショップ開催　会場:金沢西病院

金沢大学医薬保健研究域保健学

榊原　千秋先生

のご指導により開催

ワークショップ開催の目的

研修会・事業所紹介・症例検討等を行う事で、顔の見える多職種連携の大切さを感じ始めている。

① 金沢駅西地区の在宅療養を進めていくための課題を多職種のコアメンバーで明らかにし、課題解決のための具体策の検討を行っていきたい。

② 金沢駅西地区の在宅医療・地域リーダーを育成したい。

ワークショップ開催の効果

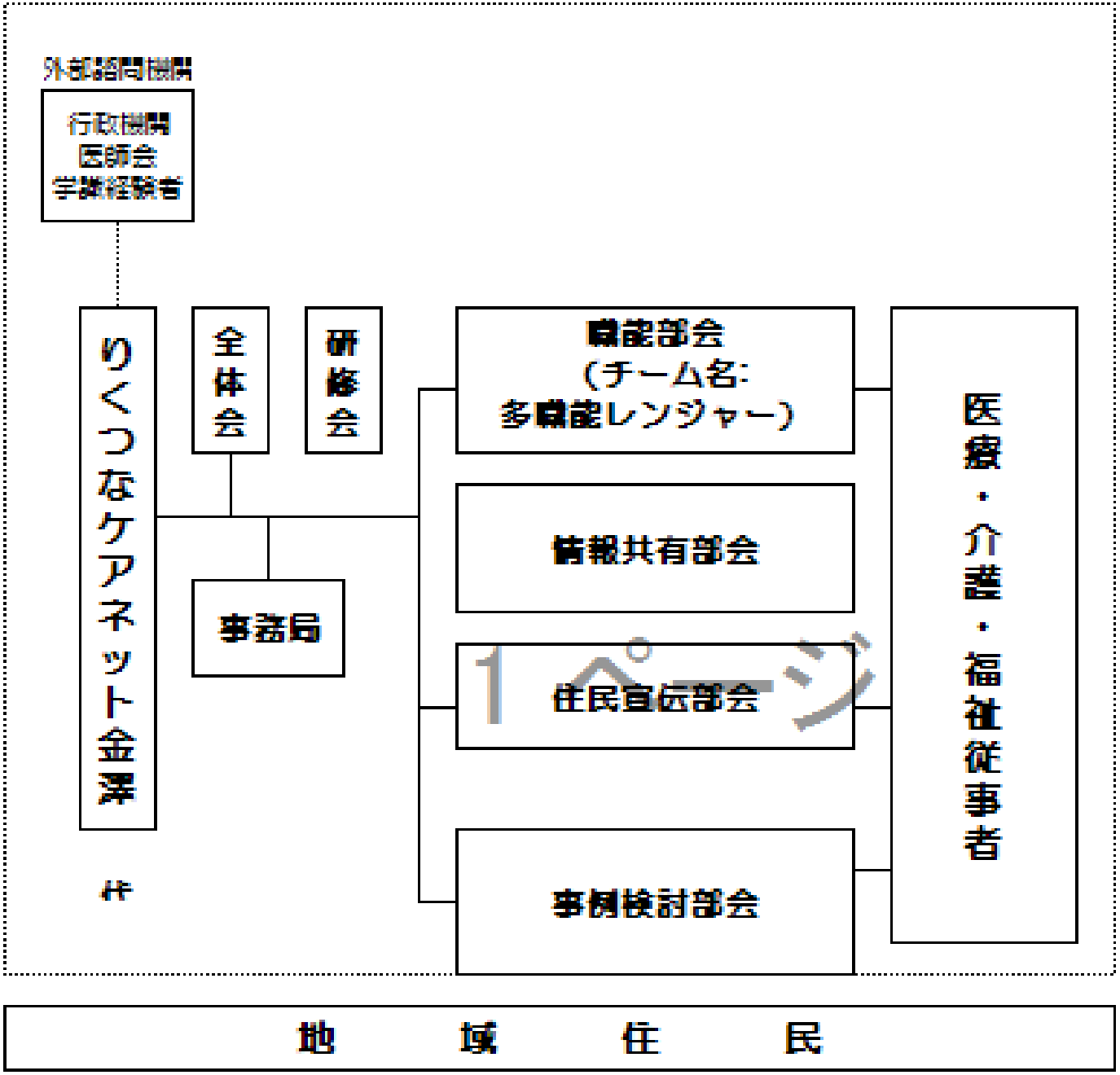
- 顔の見える関係が成立
- 多職種間のコミュニケーションが可能
- 知らなかった事業所の情報を獲得
- 意見を出し合い、話し、夢を語り、現実を知ることから行動計画を作成
- メンバー個々の想いからチーム編成、今後の活動につなげる

部会活動：メンバーがやりたい事に手挙げして参加

	部会名	活動の主旨
りくつなケアネット金澤　全体会	職能理解部会	在宅療養に関わる職種が「どのような専門職であるのか」を他職種に伝える
	情報共有部会	駅西地区の在宅療養に関わるサービスの情報収集を行う 当会内の情報ネットワークの拠点
	住民宣伝部会	一般住民に対して当会の事、在宅療養の事、在宅療養のサポート体制等をお伝えする 語り部の会の開催
	事例検討部会	専門職に向けて事例を示し、実際の業務に役立ててもらう 在宅療養への興味や実働の推進を企てる

その他に・・地域NST、認知症ケア、脳卒中連携、排泄ケア　の部会を開始予定

「りくつなケアネット金澤」組織図（案）



1 ページ

③　ホームページの立ち上げ

- 平成24年度より情報発信をスタート
- アドレスは
  http://ekinishizaitaku.web.fc2.com/

～　掲載内容　～

- 活動報告
- 委員会･研修会開催の案内
- 在宅に関わるサービス提供機関の紹介等

りくつなケアネット金澤 - Windows Internet Explorer の提供元: Yahoo! JAPAN

http://ekinishizaitaku.web.fc2.com/

りくつなケアネット金澤

トップページ | 地域で療養する | 地域サービス | リンク集 | お問い合わせ

りくつなケアネット金澤のホームページへようこそ！

こんにちは、はじめまして。
りくつなケアネット金澤ホームページは主に金沢駅西地区で暮らす方々がこの地域で療養するために有用な情報を発信していきます。

病んでも、老いても、また障害を持ってもずっと住み慣れたこの町で療養生活を送りたいという願いを叶えるたくさんのサービスや施設がこの地域にはあります。
それを知り、活用すること・・・りくつなケアネット金澤はそのお手伝いをさせていただきます。

理念

地域で暮らす人々が
必要な医療・福祉・介護を在宅で十分に受けられるよう
我々は互いに手を携え
学び
考え
行動し

地域イベント

これから地域で行われるイベントの情報を紹介します。

研修会情報（当会主催）

これから開催される研修会（当会主催）の情報を紹介します。

研修会情報（その他）

これから開催される研修会の情報を紹介します。
2013/ 8/10-11 9/28-29 12/7　第３回
北陸コンチネンス初級セミナー　～コンチ

まとめ

りくつなケアネット金澤の強みとは・・？

- 「人が人を呼び、参加者が増えていく」現象
- 「職位と年齢を超えた関係作り」

これからの連携とは・・・？

- 院内外問わず、職種と年齢を超えて職員同士が尊敬し合う関係作り

金沢元町在宅医療を考える会

平成24年度年間活動報告とこれから

平成24年度の取り組み

- 学習・交流会　4回
  （参加者数：第一回68名、第二回58名
  第三回67名、第四回65名　計258名）
- 世話人会　3回
- 地域マップ

第1回

- ４月21日（土）14時から16時半
- 浅ノ川総合病院本館3階講義室
- １部「薬剤師の在宅訪問と薬について」
  羽咋菜の花薬局　森田映司薬剤師
- 交流タイム
- ２部「透析患者の在宅医療を支えるために
  ～腹膜透析という選択～」　金沢社会保険病院血液浄化療法部部長
  武藤寿生先生　　東４病棟　諸江由紀子看護科長

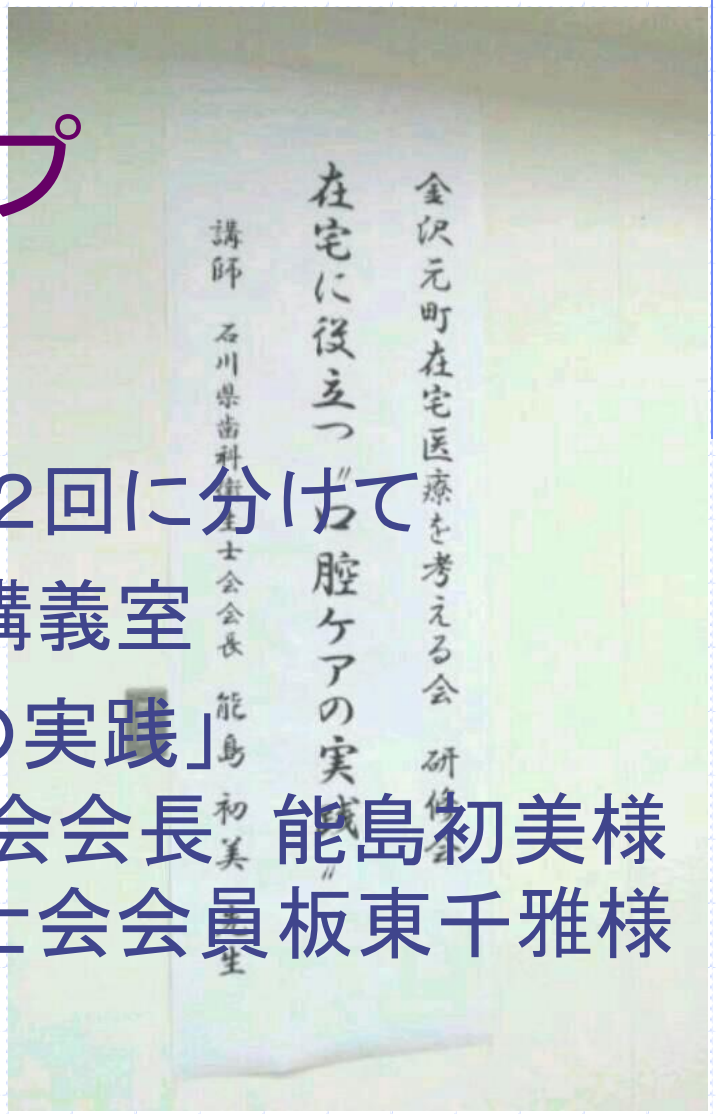
第2回　イタリア料理店にて

- ◈6月22日（金）19時から22時
- ◈金沢駅前フォーラス　ぶどうの木
- ◈1部　在宅医トーク
  「在宅を支える方々に望むこと」
  福島医院院長　福島雅司先生
- ◈2部　食事をしながら交流会

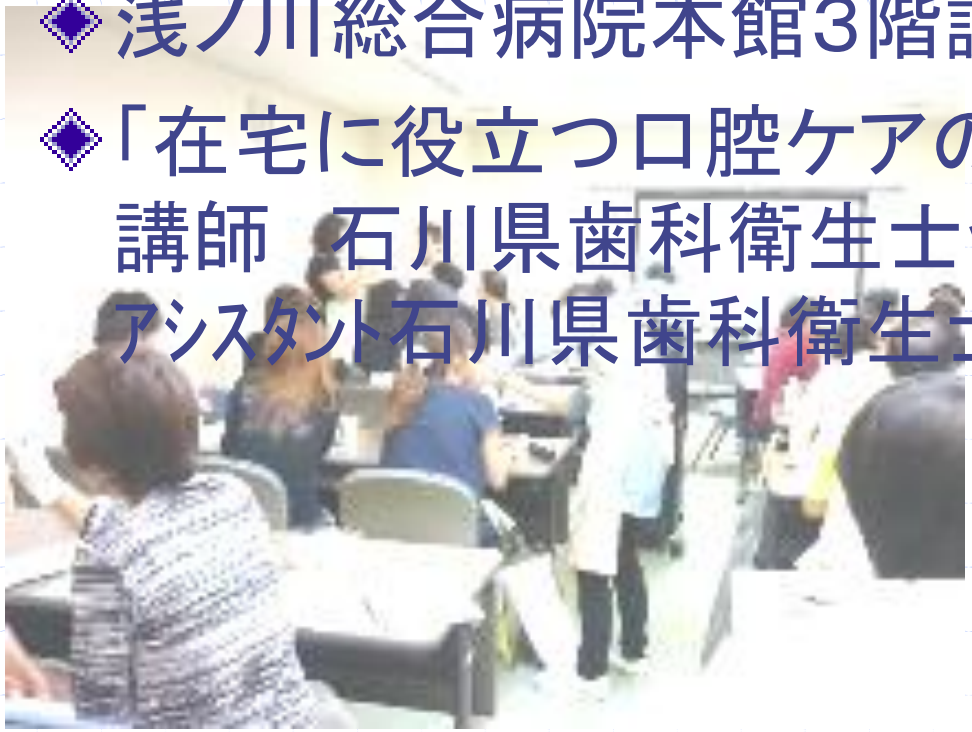
第3回

- 10月12日（金）18時半から20時半
- 浅ノ川総合病院本館3階講義室
- 1部　在宅を支える多職種間交流会自己紹介
- 2部 「ためになる連携のツボ事例報告会
～訪問看護師が関わった2事例から学ぶ～」＊事例①精神疾患のある一人暮らし…。
金沢総合健康センター　牧田幸江看護師　＊事例②誤嚥性肺炎を繰り返す難病の方の…。
こすもす訪問看護ステーション金沢木谷幸子看護師
＊トーク「“こんな支援もある”歯科医師から…。」
ふじむら歯科　院長　藤邑守成先生

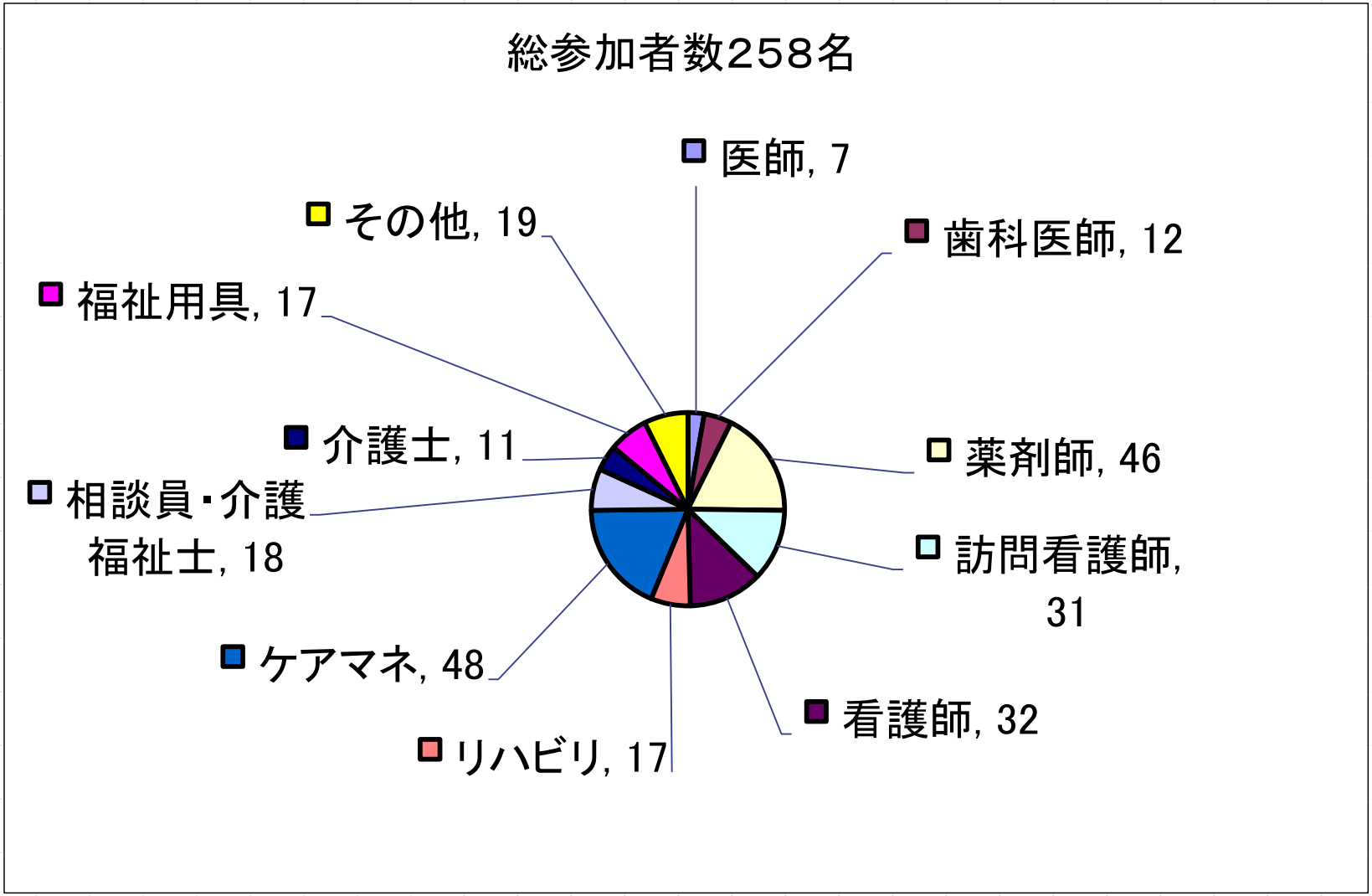
第4回　ワークショップ



- 1月26日（土）
  14時～、15時20分～の2回に分けて
- 浅ノ川総合病院本館3階講義室
- 「在宅に役立つ口腔ケアの実践」
  講師　石川県歯科衛生士会会長 能島初美様
  アシスタント石川県歯科衛生士会会員板東千雅様



参加集約結果より　職種別グラフ



連携事例
こんな風に連携がとれました！

- （金沢総合健康センター訪看）（浅ノ川総合病院リハビリ）入院→在宅へ　情報の連携・共有。
- （もりやま越野医院ケアマネ）（こすもす訪問看護ステーション）（らいふ薬局薬剤師）ターミナルの方の麻薬管理等の情報交換含めスムーズな連携がとれ、患者様にも喜ばれた。
- ケアマネの担当利用者様が、友人からもらったといって差し出した薬の袋に学習会で知り合った調剤薬局薬剤師の名前が書いてあり、直接問い合わせ、飲んではいけない薬であると確認し、適切な服薬指導をすることができた。

次年度のテーマ

- 「連携」
- 顔のわかる連携を作るために。